

# 令和4年度 朝日小学校スクールプラン

教育目標

「あかるく あたたかく あくまでがんばる子」の育成

重点目標

よりよい学級・学校生活になるように自ら考え行動できる児童の育成

【保護者・教師の願い】

- ・学ぶ喜びを持ち、自分の考えを表現できる子
- ・明るく健康で、心身ともにたくましい子
- ・地域のよさを知り、ふるさとを誇りに思う心を持つ子

【児童の実態】

- ・明るく素直で元気に活動する
- ・集団で協力することのよさを知っている
- ・自分の思いを言葉で表現する力が弱い
- ・困難に直面したとき、自力で突破しようとする気持ちがやや薄い

中期重点目標	本年度目標	具体的方策
<p>【確かな学力の育成】</p> <p>あかるく生き生きと学ぶ子</p> <p>考える力、表現する力、学びに向かう力の育成</p>	<p>国語・算数の単元末テストで80点以上をとる児童を80%以上にする。</p> <p>授業で、話し合いなどに進んで参加している児童を90%以上にする。</p> <p>読書に進んで取り組む児童を90%以上にする。</p>	<p>・授業における学習課題や指導法を工夫し、児童の学習意欲や「わかった・できた」という達成感を高める。</p> <p>・反復練習による、基礎基本の定着を図る。</p> <p>・自分の考えをまとめる時間を確保し、話し方・聞き方のモデルを示すことで、自信をもって話したり、聞いたりできるようにする。</p> <p>・単元や1時間の授業の中で対話的な言語活動の場を設定し、互いの考えを共有できるよう工夫する。</p> <p>・いつでも読書に親しめるように、教室環境を整えたり、時間を確保したりする。</p> <p>・町図書や巡回図書などを活用し、多くのジャンルの本にふれる機会を増やす。</p> <p>・月1回「読書の日」を設けたり、親子読書を推進したりするなどの工夫をする。</p>
<p>【望ましい集団の育成】</p> <p>あたたかにつながり合う子</p> <p>様々な人と協調・協働できる力の育成</p>	<p>自分にはよいところがあると思う児童を80%以上にする。</p> <p>みんなで何かをすることは楽しいと感じる児童を90%以上にする。</p>	<p>・学校行事や日頃の活動に、ポジティブ教育を積極的に取り入れる。</p> <p>・「ポジティブ週間」を設け、自分の良い所を考えたり、友達に伝えたりする活動を行う。</p> <p>・仲間とのあたたかいつながりを感じられるように、学校行事や縦割り班活動「わくわくタイム」を充実させる。</p> <p>・学級や学年、縦割り班活動で、児童が主体となり意欲的に取り組める活動を行う。</p>
<p>【健やかな心身の育成】</p> <p>あくまでがんばる強い心と体を持つ子</p> <p>心と体の健康を考えて生活する力の育成</p>	<p>正しい姿勢を意識できた児童を90%以上にする。</p> <p>自分の健康を意識して生活ができた児童を90%以上にする。</p>	<p>・全校の児童が、正しい姿勢を意識できるような取り組みになるように工夫する。</p> <p>・ICT機器を使って、自分の姿勢を客観的に見直す機会を設ける。</p> <p>・正しい知識を身につけることで、病気の予防に努める意識を高める。</p> <p>・各学年や個人の体力状況に応じて、楽しい運動ができるように工夫する。</p>
<p>【業務改善】</p> <p>健康でいきいきと勤務ができ、教育の質を高められる環境づくり</p>	<p>時間外在校等時間、月80時間以上の教員をゼロにする。</p>	<p>・教科担任制を推進し、教材研究及び授業準備の負担軽減と効率化を図る。</p> <p>・各教職員の時間外勤務の状況を早めに把握し、必要に応じて面談を行い、長時間勤務にならないように助言したり、環境を整えたりする。</p>

<組織力の向上をめざして>

- 共通の目標に向かって創造的に取り組む雰囲気
- 情報の共有に努め、教育活動の活性化、指導の充実に努める
- チームによる迅速・誠実・的確な対応

## 令和4年度 年間自己評価 総括表

中期重点目標	本年度目標	具体的方策	年間評価
【確かな学力の育成】 あかるく生き生きと学ぶ子 考える力、表現する力、学びに向かう力の育成	国語・算数の単元末テストで80点以上をとる児童を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における学習課題や指導法を工夫し、児童の学習意欲や「わかった・できた」という達成感を高める。</li> <li>・反復練習による、基礎基本の定着を図る。</li> </ul>	B
	授業で、話し合いなどに進んで参加している児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめる時間を確保し、話し方・聞き方のモデルを示すことで、自信をもって話したり、聞いたりできるようにする。</li> <li>・単元や1時間の授業の中で対話的な言語活動の場を設定し、互いの考えを共有できるよう工夫する。</li> </ul>	A
	読書に進んで取り組む児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも読書に親しめるように、教室環境を整えたり、時間を確保したりする。</li> <li>・町図書や巡回図書などを活用し、多くのジャンルの本にふれる機会を増やす。</li> <li>・月1回「読書の日」を設けたり、親子読書を推進したりするなどの工夫をする。</li> </ul>	B
【望ましい集団の育成】 あたたかくつながり合う子 様々な人と協調・協働できる力の育成	自分にはよいところがあると思う児童を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や日頃の活動に、ポジティブ教育を積極的に取り入れる。</li> <li>・「ポジティブ教育週間」を設け、自分のよいところを考えたり、友達に伝えたりする活動を行う。</li> </ul>	A
	みんなで何かをするのは楽しいと感じる児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間とのあたたかいつながりを感じられるように、学校行事や縦割り班活動「わくわくタイム」を充実させる。</li> <li>・学級や学年、縦割り班活動で、児童が主体となり、意欲的に取り組める活動を行う。</li> </ul>	A
【健やかな心身の育成】 あくまでがんばる強い心と体を持つ子 心と体の健康を考えて生活する力の育成	正しい姿勢を意識できた児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の児童が、正しい姿勢を意識できるような取り組みになるように工夫する。</li> <li>・ICT機器を使って、自分の姿勢を客観的に見直す機会を設ける。</li> </ul>	A
	自分の健康を意識して生活ができた児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい知識を身につけることで、病気の予防に努める意識を高める。</li> <li>・各学年や個人の体力状況に応じて、楽しい運動ができるように工夫する。</li> </ul>	A
【業務改善】 健康でいきいきと勤務ができ、教育の質を高められる環境づくり	時間外在校等時間、月80時間以上の教員をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制を推進し、教材研究及び授業準備の負担軽減と効率化を図る。</li> <li>・各教職員の時間外勤務の状況を早めに把握し、必要に応じて面談を行い、長時間勤務にならないように助言したり、環境を整えたりする。</li> </ul>	A

# 領域別評価表 【確かな学力の育成】

中期重点目標	あかるく生き生きと学ぶ子 ～考える力、表現する力、学びに向かう力の育成～
--------	---

本年度目標	国語・算数の単元末テストで80点以上をとる児童を80%以上に する。	年間評価
		B

テスト結果		1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
	国語	84.2	97.1	93.2	83.0	93.1	94.1	91.1
	算数	83.8	84.2	87.0	65.8	69.2	60.3	75.2

児童アンケート	学習した内容は、分かりますか。	肯定的回答の割合	98.1%
		<input checked="" type="checkbox"/> よく分かる <input type="checkbox"/> だいたい分かる <input type="checkbox"/> あまり分からない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど分からない 	

Legend:  よく分かる (55.6%),  だいたい分かる (42.5%),  あまり分からない (1.7%),  ほとんど分からない (0.3%)

保護者アンケート	お子さんには、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。	肯定的回答の割合	82.4%
		<input checked="" type="checkbox"/> 身に付いている <input type="checkbox"/> まあまあ身に付いている <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input checked="" type="checkbox"/> 身に付いていない 	

Legend:  身に付いている (27.8%),  まあまあ身に付いている (54.6%),  あまり身に付いていない (16.3%),  身に付いていない (1.3%)

教員アンケート	授業における学習課題や指導法を工夫し、児童の学習意欲や「わかった・できた」という達成感を高めることができたか。	肯定的回答の割合	100%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 	

Legend:  できた (31.6%),  だいたいできた (68.4%),  あまりできなかった (0%),  できなかった (0%)

年間評価	総括
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科においては、全学年で目標値に達している。日常的に「長文読解問題」を練習させたり、ミニプリントを定期的に行ったりした結果だと思われる。</li> <li>・算数科において、4～6の学年が目標値に達することができなかった。1学年と3学年においては、中間評価よりも数値がよくなった。どの学年も基礎基本の計算力はついてきていると思われるが、文章問題での問題の意図を読み取る力の不足を感じる教員が多い。</li> <li>・家庭学習においては、まだ十分に定着していないと思われる児童が18%ほどいると思われる。</li> </ul>
	改善策

Improvement Strategies:

- ・どの学年も落ち着いて授業に取り組んでいる。しかし、個によっては学習に向かう姿勢が不十分であったり、45分の授業に最後まで集中することが難しかったりする児童も見られる。授業改善をさらに進め、児童主体の授業を増やし、授業に最後まで取り組めるよう工夫をしていく。また、根気強く声を掛け、個に応じた学習支援を続けていく。
- ・国語科だけでなく算数科においても、文章題のミニプリントを定期的に行い、問題文の意図をしっかりと読み取ることができる児童を増やしていく。
- ・児童玄関に新聞を掲示したり、図書室などに学習コーナー（NIEやクロスワードなど）を設けたりして、楽しみながら学ぶ機会を増やしていく。

① 見通しをもって課題に取り組ませる授業の実践

昨年度から引き続き、1時間の授業の中で本時のめあてを明確にし、見通しをもって粘り強く課題に取り組ませ、終盤に振り返りを行うという流れで授業を行った。また、朝の時間や授業時間等を利用してミニプリントに取り組み、基礎・基本の定着を図った。

さらに、大型プロジェクターを利用して問題や動画を大きな画面で示しながら、授業を行ったことで、より効果的に課題を提示することができた。今後、「分かる授業」にどのように生かしていくとよいか研究を進めていきたい。



【プロジェクターを活用した授業】



【ミニプリント】

② 教室の側面掲示

教室の側面などに学習した内容の要点を掲示し、児童が授業中いつでも既習事項を振り返られるようにして、学習に生かせるようにした。



③ 全校一斉漢字力テスト

漢字の練習は、授業時間や家庭学習、隙間の時間などで取り組んだ。

その成果を見るため、学期末に全校一斉漢字力テストを行った。

どの学年の児童も、満点賞を目指して熱心に取り組んでいた。



④ 家庭学習の充実

継続的な取り組みとして、どの学年も漢字や計算、音読などの家庭学習に取り組んだ。

また、自主学習も学年に応じて取り組んでいった。その際、「自主学習メニュー」を示して、進んで取り組めるようにした。



⑤ グッドノートの掲示

児童の模範となる授業ノートや自主学習ノートを掲示し、ノートをまとめるときの工夫や見やすく仕上げるコツなどを参考にできるようにした。

廊下を通る児童が掲示を見て話をしている姿が見られた。



# 領域別評価表 【確かな学力の育成】

中期重点目標	あかるく生き生きと学ぶ子 ～考える力、表現する力、学びに向かう力の育成～	
本年度目標	授業で、話し合いなどに進んで参加している児童を90%以上にする。	年間評価 <b>A</b>
児童アンケート	授業で、自分の考えを友達に伝えたり、発表したりすることができましたか。	<p>肯定的回答の割合 94.6%</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>できた   <input type="checkbox"/>だいたいできた   <input type="checkbox"/>あまりできなかった   <input checked="" type="checkbox"/>できなかった </p> <p>4.3% 1.1%</p> <p>56.1% 38.5%</p>
児童アンケート	授業で、友達の考えをしっかりと聞くことができましたか。	<p>肯定的回答の割合 98.9%</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>できた   <input type="checkbox"/>だいたいできた   <input type="checkbox"/>あまりできなかった   <input checked="" type="checkbox"/>できなかった </p> <p>0.9% 0.3%</p> <p>79.5% 19.4%</p>
教員アンケート	授業では、話し方・聞き方のポイントやモデルを示し、児童が自信をもって話したり、自分の考えと比べながら聞いたりできるよう工夫することができたか。	<p>肯定的回答の割合 94.4%</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>できた   <input type="checkbox"/>だいたいできた   <input type="checkbox"/>あまりできなかった   <input checked="" type="checkbox"/>できなかった </p> <p>5.6%</p> <p>33.3% 61.1%</p>
年間評価	総 括	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを伝え合う前に、まず一人でじっくり考え、次にペアやトリオなどの小グループで伝え合い、全体へとつなげる学習活動を取り入れた結果、伝え合うことに自信をもてる児童が増えた。</li> <li>話し合いにもICTを取り入れた。従来のノートやワークシートだけでなく、プロジェクターで投影したり、タブレットを使ったりすることで様々な形態で行うことができた。</li> <li>しっかりと聞くことができる児童は多いが、手遊びをしたり姿勢が崩れていたり意識が低い児童も見られる。</li> </ul>	
年間評価	改 善 策	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末にあるアプリの活用について今後も継続して研究を行い、ICT活用に生かしていく。</li> <li>「聞く時の姿勢・心構え」について、教員間でさらに共通理解を図り、学年に応じた話し方・聞き方の指導の工夫について共有していく。</li> </ul>	

### ①対話的な学びの場を設定した授業実践（4年国語科「一つの花」）

○自分の考えを班で話し合うときに、めあてをもって話し合い、自分の考えを高める。登場人物の行動や会話に着目して思いを考える学習で、友達の考えをよく聞き、自分の考えを高められように対話的な学びの場を設定した。

まず、ワークシートに登場人物の行動や会話をまとめ、自分の考えをもちやすいように情景を整理した。次に、整理したことを基に登場人物の思いを考え、班で話し合いをした。この話し合い活動では、「自分の考えをパワーアップさせるため」として行った。その手立てとして、「話し合いの流れ」をカードで示した。

話し合いの流れを示したことで、自分の考えを発表してそれを聞くだけの発表会にならず、意欲的に取り組む姿が見られた。また、全体での話し合いでも、友達の考えを聞いて、うなずいたり、「ああ、同じだ」「ちょっと違う」など反応したり、考えをつなげて発表したりする姿も多く見られた。「自分の考えをパワーアップさせるため」と意識して聞いているため、考えを再考するときに、ほとんどの児童が書き直したり、付け足しをしたりして、自分の考えを高めることに繋がったと思われる。



【考えを発表し、感想を伝え合う】

#### 班で話し合うのは…

※自分の考えをパワーアップさせるため

※そのために…

- ①同じところやちがうところを見つけよう。
- ②思いを伝える。  
→同じ考えて自信がついた。  
→ちがっていてすごいと思った。 など
- ③自分の考えをふりかえって、つけ足したり、変えたりする。

【提示した話し合いの流れ】

### ②ICT機器の活用した授業実践

○SkyMenuを使った話し合い  
（3年国語科「はんで意見をまとめよう」）

SkyMenuの発表ノートに座標軸のワークシートを作成し、話し合いに活用した。座用軸に条件を加え、その条件に沿って自分の考えを分類することで、考えを整理できた。自分の考えが整理されたことで、発表しやすくなり、たくさんの児童が自信をもって発表していた。また、視覚的にも一人一人の考えが分かりやすくなり、クラス全体で共有しやすかった。



【座標軸を使って  
考えを発表する】

○映像を使って考察する  
（5年理科「ものの溶け方」）

児童が授業中にもった疑問から、カメラのタイムラプス機能を使って一定時間連続でコーヒーシュガーが溶ける様子を撮影し、短い動画を作った。この動画を使って観察をし、考察したことで児童は疑問を解決することができた。また、動画は繰り返し再生して確認できるため、「ビーカーの底にあった粒がだんだん見えなくなった」「濃い茶色の部分が同時に上下に広がっている」など、様々な発見や考察が生まれた。



### ③共に学び合う校内研修

本校の研究主題「明るく生き生きと学ぶ児童の育成」のため校内研修を年に十数回行い、授業作りのレベルアップを図った。研究授業について話し合ったり、対話的な学びやICTを取り入れた授業についての実践を紹介し合ったりした。その際、異学年で話し合ったりワールドカフェ方式を取り入れたりと工夫した。学年を解いて意見交換をしたことで、低学年からの発達段階をふまえた授業について深めることができた。また、ワールドカフェ方式を取り入れたことで、職員間でより気軽に話し合いが進み、同じ目標に向かって取り組もうとする一体感が生まれたように感じた。

# 領域別評価表

## 【確かな学力の育成】

中期重点目標	あかるく生き生きと学ぶ子 ～考える力、表現する力、学びに向かう力の育成～	
本年度目標	読書に進んで取り組む児童を90%以上にする。	年間評価
		B

児童アンケート	進んで読書に取り組み、読書の楽しさを味わうことができましたか。	肯定的回答の割合	90.3%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 	

保護者アンケート	ご家庭でお子さんは、「読書の日」などに本を読んでいますか。	肯定的回答の割合	43.1%
		<input checked="" type="checkbox"/> 読んでいる <input type="checkbox"/> まあまあ読んでいる <input type="checkbox"/> あまり読んでいない <input checked="" type="checkbox"/> 読んでいない 	

教員アンケート	読書の時間を確保したり、親子読書を勧めたりするなど、児童が読書に親しめるような取り組みができたか。	肯定的回答の割合	93.3%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 	

年間評価	総括
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回行った親子読書では、全ての「親子読書カード」を児童玄関に掲示し、どのような本が読まれているのかを全校児童が見られるようにした。また、保護者会の日に掲示することで、保護者にも他の児童の取り組みの様子を知ってもらう機会とした。</li> <li>・図書委員会が中心となって事前に読みたい本のアンケートをとり、その結果をもとに新図書を購入し配置した。このことが、図書委員会児童の「図書環境を自分たちで整えていく」という意識の向上につながった。</li> <li>・学校では多くの児童が読書に親しんでいるが、家庭では読書に親しむ割合が低くなっている。</li> </ul>
	改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回行う親子読書では、引き続き全ての「親子読書カード」を児童玄関に掲示し達成感を味わわせ、読書への意欲を高められるようにする。また、保護者が来校する期間の掲示も継続し、本校の読書の取り組みを知ってもらうとともに、家庭での読書の啓発を促していきたい。</li> <li>・図書委員会が中心となって読書を啓発する企画を考えたり、図書室内に本の紹介コーナーやクイズコーナーなどを設置したりすることで、より多くの児童が来室する図書室をつくる。</li> <li>・新図書の購入の際には引き続き児童が読みたい本のアンケートをとり、教科書や学習内容に関連した図書の充実を図ることで、授業にも活用できる図書室を目指す。</li> </ul>
--

① 「親子読書」と「読書の日」の設定

6月・11月を読書月間として、各家庭において「親子読書」を行った。「親子読書」の方法は、①親子で1冊の本を一緒に読む。②親が子に読み聞かせをする。③子が親に読み聞かせをする。④親子で同じ本を別の時間に読んで、感想を伝え合う。⑤親子で読書の時間を持ち、違う本を読む。という5つの方法から選択し、読書後に親子で感想を伝え合い、「親子読書カード」を書いてもらった。

また、家庭での読書の機会を増やすため毎月第1金曜日を「読書の日」とし、全学年で週末に家庭での読書を促すようにした。取り組む内容は学年によって異なるが、簡単なシートやノートなどを活用して、取り組みの跡を残すようにした。



【親子読書カード】



【「親子読書カード」の掲示】



【読書の日カード】

② 町立図書館の本の貸し出し

毎月水曜日の昼休みに、町立図書館の方にホールで本の貸し出しをしていただいた。児童は自分の図書館の貸し出しカードを提示すれば1～2冊の本を2週間借りることができ、返却も学校で行うことができる。この取り組みにより、児童は様々なジャンルの本に触れることができた。



③ 「読書カード」の活用

本を読み終えたら日付と本の題名を書き、自分の読書の記録を残している。カードがたまって1枚、2枚…と枚数が増えていくことを楽しみにしている児童も多く、本を読み終えた後の喜びの1つになっている。



④ 「巡回図書」の活用

県が推奨する図書を県内の学校に順番に貸し出す取り組みがある。各学年、学期に1回程度同じ本が40冊ほど回ってくるため、全員が読めるように時間を確保している。



⑤ 本専用の「手提げ袋」の活用

朝の時間や自習の時間、休み時間などに、児童が手軽に読書に取り組めるよう机の横にかけることのできる本専用の手提げ袋を用意している。辞書や学習ファイルなども入れることができ、役立っている。





# 領域別評価表

## 【望ましい集団の育成】

中期重点目標	あたたくつながりあう子 ～様々な人と協調・協働できる力の育成～	
本年度目標	自分にはよいところがあると思う児童を80%以上にする。	年間評価 <b>A</b>

児童アンケート	自分には何かよいところがあると思いますか。	肯定的回答の割合 97.7%
		<input checked="" type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> だいたい思う <input type="checkbox"/> あまり思わない <input checked="" type="checkbox"/> 思わない 

教員アンケート	学校行事や日頃の活動に、ポジティブ教育を活動の工夫として積極的に取り入れたか。	肯定的回答の割合 94.7%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 

保護者アンケート	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	肯定的回答の割合 97.7%
		<input checked="" type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> だいたい思う <input type="checkbox"/> あまり思わない <input checked="" type="checkbox"/> 思わない 

年間評価	<b>総 括</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期には「ポジティブ週間」を設けた。各学年の実態に応じて自分の強みを知る取り組みを行い、道徳の時間には、ねらいが個性の伸長や自分らしさを生かすなど強みに関連した学習を行った。</li> <li>・2学期以降は日常の学校生活に加え、修学旅行や宿泊学習、学習発表会などの学校行事でも、「ピア・サポート」の視点を取り入れ、児童同士が助け合いながら成功体験を重ねられるように支援した。</li> <li>・ポジティブ教育の推進により、「自分にはよいところがある」と思う児童が増えた。1年間の継続的な取り組みにより、学校全体で自分の良さを認識している児童が増えてきている。</li> <li>・2学期は学校全体での取り組みはなかったため、ポジティブ教育の取り組みに対して学年間やクラス間に違いが見られた。</li> </ul>
	<b>改 善 策</b>

・来年度も計画的、継続的にポジティブ教育を推進していく。6月にポジティブ週間、11月に人権週間を設ける。ポジティブ週間では、「自分にはよいところ、強みがある」と実感できる活動を各学年の実態に応じて行う。人権週間では、「自分も大切、相手も大切」とお互いを認め合い、大切にしよう活動に取り組む。  
 ・学校行事でも、子ども達が子ども達同士で相互に支え合う「ピア・サポート」の視点を取り入れ、児童同士が助け合いながら成功体験を重ねられるように、年間スケジュールに組み込み支援していく。

### ①ポジティブ週間

6月17日から23日に、「ポジティブ週間」を設けた。自分のよい所や強みに気付き、自己肯定感や自己効力感を高めたり、自他のよさを認め合える豊かな人間関係を形成したりすることをねらいとし、全校でポジティブ教育に取り組んだ。学活の時間には、自己肯定感を高める「すごいこと見付け」や、自分や友達の「強み」を使って問題を解決しながらゴールを目指す「強みすごろく」など、各学年の実態に応じた取り組みを行った。「自分にもいい所があると思った」「困った時には、助けてと言ってもいいのだと思った」などの感想が聞かれ、自分や友達のよい所を改めて確認し、認め合う姿が見られた。また、道徳の時間には、「個性の伸長」や「自分らしさを生かす」など、自分の強みについて考える学習も行った。活動後には、掲示板や学年だより、ホームページなどで広く知らせた。



【強みすごろく】



【「すごいこと」見付け】



【振り返りのための  
掲示物】

### ②児童会が提案した取り組み

児童会が中心となり、「こんなとき、なんて言う？みんなで考えよう！」という活動を行った。友達が寂しそうに一人にいる時や、給食の後片付けで牛乳をこぼしてしまった時など、児童の身近にある場面を設定し、「こんな時、なんて言う？」と投げ掛けた。「一緒に拭こう」「手伝うよ」など、自分ならこう言うという言葉を用紙に書き、全校児童が投票を行った。投票された温かい言葉掛けを放送や掲示物で知らせ、子ども達同士で相互に支え合う「ピア・サポート」の意識を高めることができた。

また、「お悩みごと 児童会に聞かせて ミラクルアンケート！」と称し、全校児童にアンケートを行った。児童会からのアドバイスや気持ちに寄り添ったメッセージなどを掲示板に掲示することで、学年関係なく、困っていることを伝え合える雰囲気をつくることができた。



【身近にある場面を提案】



【全校児童が投票】



【児童会掲示板】

### ③人権集会

11月22日に人権集会で「3兄弟バンド『一途』」のトーク＆ライブを行った。自分の個性を大切にすることや家族のあたたかさをテーマとした歌や話を聞いた。「他の人にも優しく個性を認め合えるような声を掛けていきたい」「自分がワクワクすることを選んだら、僕の人生は絶対おもしろくなると思う」などの感想をもち、優しさや思いやりについて考える有意義な時間となった。



【人権集会】

# 領域別評価表

## 【望ましい集団の育成】

中期重点目標	あたたかくつながりあう子 ～様々な人と協調・協働できる力の育成～仲間づくり～
--------	---

本年度目標	学校が楽しい、みんなで何かをするのは楽しいと感じる児童を90%以上にする。	年間評価
		A

児童アンケート	学校が楽しいですか。	肯定的回答の割合 96.3%
		<input checked="" type="checkbox"/> 楽しい <input type="checkbox"/> まあまあ楽しい <input type="checkbox"/> あまり楽しくない <input checked="" type="checkbox"/> 楽しくない 

児童アンケート	学級や学年、縦割り活動など、みんなで何かをするとき、進んで楽しく活動できましたか。	肯定的回答の割合 98.9%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 

教員アンケート	学級や学年、縦割り活動で、児童が主体となり、意欲的に取り組めるような活動を行うことができたか。	肯定的回答の割合 100%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 

年間評価	総括
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も、6年生がよりよい学校生活のために自分達にできることを話し合い、委員会へ提案する活動を行った。その提案をもとに、各委員会で新しい取り組みを実践することができた。</li> <li>5年生の総合的な学習の環境教育でも、委員会ごとに取り組める内容を考え提案する活動を取り入れた。よりよい環境を作っていくために、学校で取り組める具体的内容を考えることは、高学年として次年度の提案につながるものとなった。</li> <li>コロナ感染第八波の影響を受け、2学期の中頃から、学年ごとに清掃活動を行ったり学年間の交わりを制限したりするなど、感染症予防のための対策をとる必要があった。そのため、昨年度より縦割り班による活動を実施することができなかった。</li> </ul>
	改善策

・高学年が委員会活動を中心に、「自分達の学校を自分達でつくり上げよう」と学校運営を担う活動を来年度以降も継続することで、児童の意識や活動の質的な向上を図っていきたい。  
 ・低学年・中学年においても、近い学年とのつながりを意識した取り組みを積極的に行っていく必要がある。1・2年生は今後も生活科などでの交流を継続し、3・4年生は教科や総合的な学習などでの交流の充実を図っていく。

### ① 学校生活への提案

前期の活動として6年生は、「自分達で学校生活をよりよくしていこう」と委員会ごとに話し合い、活動案をまとめる時間を設けた。委員会の時間に活動案を自分たちで提案し、委員会活動に児童のアイデアが活かされるようにした。

後期には5年生が、6年生の提案を参考に、総合的な学習の時間に進めてきた「環境」に関する視点も合わせ、「学校でできる取り組み」について委員会ごとに考え、提案した。



【提案をプレゼンする6年生】

### ② 6年生の提案を受けての各委員会の取り組み

体育委員会では、少しでも日常的に運動をする時間を確保するために、各クラスで、始業前にラジオ体操を実施した。朝から体を動かすことで、1日元気に活動することにつながった。給食委員会では、「残食すごろく」を提案し、各クラスで取り組んだ。クラスみんなですごろくを楽しみながら、協力して残食を減らそうとする様子が見られた。保健委員会では、少しでも廊下を走る人を減らそうと「飛び出し坊や」の掲示を行った。今までは、全校への呼び掛けとして、ポスターを貼ることが多かったため、新たな取り組みとして注目を集めた。放送委員会では、先生にインタビューを行い、先生の誕生日に「誕生日紹介」を行った。学年の枠を越えた会話のきっかけとなった。

どの活動も、6年生のアイデアが実践となったもので、児童は生き生きと活動し、児童の委員会活動への主体性が高まった。



【ラジオ体操をする5年生】



【飛び出し坊や】

### ③ 児童会による企画・運営「わくわくタイム」

児童会が「わくわくタイム」を企画し、縦割り班での活動を行った。楽しみながら、他学年にも挨拶ができるようにと、じゃんけん列車と挨拶を組み合わせた「挨拶じゃんけん列車」を行った。縦割り班内の児童が、学年に関係なく楽しみながら挨拶し合う様子が見られた。コロナ禍で学年間の交流が制限される時期が多かった中、異学年が交わる貴重な機会となった。



【挨拶じゃんけん列車】

### ④ 低学年の交流

1・2年生の学年交流として、学校探検と遊びを縦割り班ごとに行なった。2年生が案内役として説明を考え、校舎内を探検したり、自分達で考えた遊びを一緒にしたりする中で、1つ上の学年としての意識を高め、1年生への声掛けや関わり方について学ぶことができた。



【2年生が1年生に  
けん玉の仕方を教える】

# 領域別評価表

## 【健やかな心身の育成】

中期重点目標	あくまでがんばる強い心と体をもつ子 ～心と体の健康を考えて生活する力の育成～	
本年度目標	正しい姿勢を意識できた児童を90%以上にする。	年間評価
		A

児童アンケート	正しい姿勢を意識して生活できましたか。	肯定的回答の割合	93.1%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 	

教員アンケート	正しい姿勢で生活するように粘り強く指導したか。	肯定的回答の割合	100%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> 教員だいたいできた <input type="checkbox"/> 設問あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> 6できなかった 	

年間評価	総 括	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員会の活動として姿勢の写真を撮影したり、清掃時や給食時に、「ぴん ぴた ぐう」を合い言葉に正しい姿勢を意識したりする機会を設けたことで、児童の意識が高まった。</li> <li>全校集会や体育大会での様子を見ると、昨年度までに比べて全体的には正しい姿勢を保持できる児童が多くなってきている。来校者の方からも、正しい姿勢をほめていただくことがあった。日々の粘り強い指導の成果だと感じている。</li> </ul>	
	改 善 策	
<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい姿勢が、保持できない児童については、個別に粘り強く声を掛けるようにする。</li> <li>自分の姿勢を客観的に捉えることは、正しい姿勢を意識する上で有効だと思われるので、委員会活動や保健指導の時間を利用してタブレットで画像を撮影し、利用したい。</li> </ul>		

### ①姿勢についての保健指導

昨年度に引き続き、11月の体重測定後、姿勢についての保健指導を実施した。下記の4つについて、発達段階に応じて、動きも取り入れながら行った。

- ・自分の姿勢を確認
- ・自分の体の歪み調べ
- ・正しい姿勢とは
- ・正しい姿勢を保つためのヒント



【動画撮影風景】



【12月保健だより】

タブレットを使って自分の姿勢を動画で確認したり、足踏みをして体の

歪み具合を調べたりしたのは、児童の意識づけに効果的であった。

この保健指導の内容は、12月の保健だよりで、家庭にもお知らせをした。

### ②姿勢を意識するための保健委員会活動



【保健委員が作成した姿勢の掲示物】



【保健委員が撮影した給食時の様子】

保健委員会の児童が校内放送で、食器を持って1分30秒間正しい姿勢「ぴん ぴた ぐう」を意識しながら給食を食べるように呼びかけを行った。

1週間継続して呼びかけることで、放送がかかると、自然に背筋が伸びるようになった。放送担当以外の保健委員会の児童は放送中に各クラスをまわり、姿勢の様子をタブレットで撮影した。

その画像を使って、座っている時の姿勢が、よくなってきていることを知らせる掲示物を作成し、全校児童に知らせた。

### ③姿勢を意識してから取り組む無言清掃の取り組み



【清掃前に正しい姿勢を保持する児童】

- ・毎日決まった時間に、良い姿勢を意識できたことが良かったです。(児童より)
- ・清掃開始時、学校全体が静かになったので清掃指導が行いやすくなりました。(清掃担当者より)

清掃活動の開始前に、正しい姿勢で黙想をする取り組みを行った。

児童らは、音楽と共に清掃場所へ移動し、正しい姿勢を保持しながら掃除の始まりを待った。静かに落ち着いた雰囲気が、学校全体に一体感を生むようになった。

その後、放送の合図に合わせて挨拶をしてから清掃に取り組んでいるが、姿勢を保持してから清掃を開始することにより、無言清掃をより徹底させることができた。高学年児童が良い手本を示していたことも、成功の鍵となった。

# 領域別評価表 【健やかな心身の育成】

中期重点目標	あくまでがんばる強い心と体をもつ子 ～心と体の健康を考えて生活する力の育成～	
本年度目標	自分の健康を意識して生活ができた児童を90%以上にする。	年間評価
		A

児童アンケート	業間運動や体育では、楽しく体を動かすことができましたか。	肯定的回答の割合 96.2%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> ままできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった <p>Legend: <input checked="" type="checkbox"/>できた (75.5%), <input type="checkbox"/>ままできた (1.1%), <input type="checkbox"/>あまりできなかった (0.6%), <input checked="" type="checkbox"/>できなかった (22.8%)</p>

保護者アンケート	お子さんと病気の予防について、話し合う機会を設けていますか。	肯定的回答の割合 71.9%
		<input checked="" type="checkbox"/> 設けている <input type="checkbox"/> ときどき設けている <input type="checkbox"/> あまり設けていない <input checked="" type="checkbox"/> 設けていない <p>Legend: <input checked="" type="checkbox"/>設けている (22.2%), <input type="checkbox"/>ときどき設けている (49.7%), <input type="checkbox"/>あまり設けていない (20.9%), <input checked="" type="checkbox"/>設けていない (7.2%)</p>

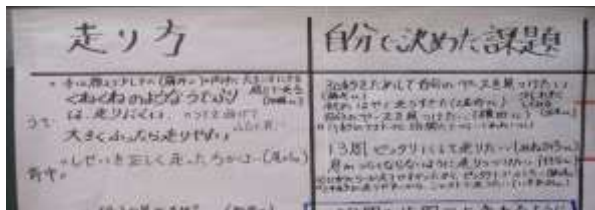
教員アンケート	個人の体力状況に応じて、楽しく運動できるように工夫することができましたか。	肯定的回答の割合 100%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> 教員だいたいできた <input type="checkbox"/> 設問あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった <p>Legend: <input checked="" type="checkbox"/>できた (25.0%), <input type="checkbox"/>教員だいたいできた (75.0%), <input type="checkbox"/>設問あまりできなかった (0%), <input checked="" type="checkbox"/>できなかった (0%)</p>

年間評価	総括
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育では、児童一人一人の体力に合った課題に取り組む授業や、ICT機器を用いて自分の運動の様子を分析する授業を行い、楽しく運動に親しみながら体力の向上を図った。自分にあった課題に取り組むことで、運動に抵抗感なく取り組めるようになったり、ICT機器で自分の運動の様子を客観的に捉えることで、新たな気付きを感じられたりする児童の姿が見られた。</li> <li>・保健の授業や保健だよりの配布などの機会を用いて、くり返し病気の予防の大切さを児童に伝えた。</li> </ul>
	改善策

・ICT機器を利用するなど、普段の体育授業を工夫し、主体的に運動に取り組む児童の増加、運動に抵抗のある児童の減少に努める。  
 ・手洗いや消毒・黙食など、学校での病気の予防につながることは徹底できているので、今後も継続していきたい。親子が病気の予防について考えられる機会をPTAと連携して設けるようにしたい。

### ①児童一人一人の体力に合った課題解決を目指す体育授業

自分に合った走り方や走るペースを見付けることを目指して、持久走の授業の実践を行った。教師が、走り方や「めあて」を伝えて学習に取り組むのではなく、児童自ら課題を設定し、解決方法を考えていく学習活動にした。この学習を通して、どんな走り方が良いのか考えたり、自分がどのくらいのペースで走ると心地良いか考えたりする姿が見られた。学習の最後には、ペアになって併走しながら声を掛ける児童や、自分に合った走り方の発表をする児童が見られた。



【児童が見つけた課題をまとめた掲示物】



【自分に合ったペースで走る児童】

### ②ICT機器を用いて自分の運動の様子を分析する体育授業



【撮影した動画を確認する児童】

体育の授業において技能を指導する際、言語のみで児童に伝えるのは非常に難しい。また、児童も教師の言葉の意味が理解できずに困惑することが多く見られる。

そこで、器械運動のマット運動や鉄棒運動の授業において、タブレットを用いて児童同士で演技を撮影し、その動画をもとに自分の演技を分析できるようにした。言語ではなく、視覚的に自分の動きを捉えることができることで、児童は自分の動きの課題が明確になり、意欲的に取り組む姿が見られた。また、練習前後の動画を比較して見ることで、自分の成長を感じ自信をもつ姿も見られた。教師からの助言も動画を用いて行うことで、児童の理解も高まったように感じた。

### ③病気の予防に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症対策が3年目となり、国の規制は緩和されつつあるが、本校での感染症対策は下記の通りである。

- ・マスクの着用（気温や活動内容によって外す）
- ・黙食
- ・保健委員による石けんパトロール…曜日毎に担当を決め、液体石けんの補充をしている。
- ・手洗いタイムの設定…大休みと掃除の後の2回、5分間の手洗いタイムを設け、必ず手を洗う時間を確保している。
- ・体重測定後の保健指導…感染症予防には強い免疫力が必要であり、免疫力を高めるためには規則正しい生活が欠かせない。そこで、9月の体重測定後、「生活リズム」についての保健指導を行った。クイズを取り入れたり、紙芝居を使ったりしながら、興味関心をもてるよう内容を工夫した。



【手洗いタイムで手を洗う児童】



# 領域別評価表 【業務改善】

中期重点目標	健康でいきいきと勤務ができ、教育の質を高められる環境づくり
--------	-------------------------------

本年度目標	時間外在校等時間、月80時間以上の教員をゼロにする。	年間評価
		A

時間外勤務時間の状況	時間外勤務時間/月(授業日数)	4月(15)	5月(19)	6月(22)	7月(13)	8月(2)	9月(20)	10月(20)	11月(20)	12月(17)
	45時間未満(人)	9	7	5	22	24	10	12	13	16
	45時間以上～60時間未満(人)	14	12	11	2	1	12	10	9	8
	60時間以上～80時間未満(人)	2	6	9	1	0	3	3	3	1
	80時間以上(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時間外勤務時間の平均/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	令和2年度(時間)	23	25	58	52	36	55	57	47	45
	令和3年度(時間)	53	51	58	41	10	50	52	47	40
	令和4年度(時間)	44	51	53	33	11	44	43	41	36

教員アンケート	提案事項を事前に検討し、焦点化を図りながら会議が円滑に進むよう努めることができたか。 (要点を記載した資料・簡潔な説明等)	肯定的回答の割合 100%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 

教員アンケート	分掌業務内容に必要なデータ及びファイルを整理し、業務の効率化に努めることができたか。	肯定的回答の割合 100%
		<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 

年間評価	総括
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務時間の平均時間は、令和2、3年度と比較して減少傾向にある。</li> <li>・7月以降は月平均45時間以下が継続し、約半数の教員が月45時間以下となっている。</li> <li>・教職員の勤務時間意識が高まっており、一人一人の勤務実態から、業務のタイムマネジメントを積極的に行っている様子が見られる。</li> <li>・校務支援システムやICTの導入が前年度までに整備され、教職員の活用能力や指導力が向上し、業務の効率化がいっそう進んでいる。</li> <li>・学習支援員、生活支援員、運営支援員などサポートスタッフの増員配置が継続し、環境が整備・充実されており、業務の迅速な処理につながっている。</li> </ul>
	改善策

・文部科学省の作成した上限ガイドライン（月45時間、年360時間等）の実効性を高めることが重要である。現状に加えて、地域や保護者の理解を得ながら、業務の適正化を図っていく。  
 ・時短、効率化、削減等により生成された時間を、児童と向き合う、教職の専門性を高める、教育活動の充実を図る、教育の質を維持向上する、といった本来の目的達成のために費やし、教員の働きがいが高まる学校づくりを推進していく。  
 ・教員アンケートより、月1回「ノー残業デー」を設定することや、月2回設けてどちらか1日は守る、という具体的な提案が出されていた。児童が早く下校する曜日など、可能なところで実現の可能性を探っていきたい。

# 令和4年度 学校関係者評価書

越前町立朝日小学校 学校関係者評価委員会

<p>生き生きと学ぶ子 あかるく</p>	<p><b>考える力、表現する力、学びに向かう力の育成</b></p> <p>各教科において、「見通しをもって課題に取り組ませる授業の実践」を、昨年に引き続き行いました。授業のめあてを明確にし、見通しをもって粘り強く取り組んできたことが、よい結果につながったと思います。</p> <p>令和4年12月の学校だより「3あの子」に、児童の読書の状況が記載されていました。「最近1ヶ月ほどで、何冊ぐらい本を読みましたか」では、0冊と答えた児童が15%（県6.3%）、1～2冊が24.9%（県19.2%）でした。読書も引き続き、がんばりましょう。</p>
<p>つながり合う子 あたたかく</p>	<p><b>様々な人と協調・協働できる力の育成</b></p> <p>ポジティブ教育が、ポジティブ週間や、道徳授業の「個性の伸長」「自分らしさを生かす」学習、児童会の活動等を通じて、適切に進められていました。</p> <p>令和4年2月の「3あの子」に、児童の自己肯定感についての記載がありました。「自分にはよいところがあると思いますか」では、県平均を下回っていましたが、令和4年12月の「3あの子」では、県平均を上回っていました。ポジティブ教育の推進が、自己肯定感の高まりにつながったと思われます。</p>
<p>強い心と体を持つ子 あくまでがんばる</p>	<p><b>心と体の健康を考えて生活する力の育成</b></p> <p>令和4年12月の保健だより「のびのびあさひ」に記載されている、タブレットを使って自分の姿勢を動画で確認する取り組みは、効果的でした。</p> <p>清掃活動の開始前に、正しい姿勢で黙想する取り組みは、高学年児童が良い手本を示していたのがよかったようです。</p> <p>床に目印のシールを貼った後、目をつむり、足踏みをして体のゆがみを調べる取り組みも、効果的でした。</p>
<p><b>【業務改善】</b></p>	<p><b>健康でいきいきと勤務ができ、教育の質が高められる環境づくり</b></p> <p>中間評価から改善を図り、先生の配転、時間外勤務時間の目標、年間を見通した計画、行事精選などに取り組んだことが、良い結果になったと思います。</p> <p>一時の取り組みではなく、4月から12月まで計画的に取り組んだことが、目標達成につながりました。先生方の努力の結果であり、大変良かったです。</p> <p>1月から3月末まで、継続するようお願いいたします。</p>
<p>学校全般 その他</p>	<p>本年度もコロナ禍に学校はいろいろと対応していただき、保護者も安心して学校に通わせることができました。</p> <p>体育大会が春に代わって2年目。1年生はまだ学校に慣れていない段階であり、6年生は準備期間が短く大変ですが、上級生が下級生の面倒をよく見ていました。児童が一体となって、楽しく、力いっぱい、それぞれの目標に向かって頑張っていました。大変、良かったです。</p>

【資料】令和4年度 学校評価アンケート 年間自己評価 <児 童>

設 問	回答率(%)		図表
	回答内容	割合	
1 学習した内容は、分かりますか。	そう思う	55.6%	<input checked="" type="checkbox"/> よく分かる <input type="checkbox"/> だいたい分かる <input type="checkbox"/> あまり分からない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど分からない 
	だいたいそう思う	42.5%	
	あまりそうは思わない	1.7%	
	思わない	0.3%	
2 授業で 自分の考えを伝えたり、発表したりすることができましたか。	そう思う	56.1%	<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 
	だいたいそう思う	38.5%	
	あまりそうは思わない	4.3%	
	思わない	1.1%	
3 授業で、友達の考えをしっかりと聞くことができました。	そう思う	79.5%	<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 
	だいたいそう思う	19.4%	
	あまりそうは思わない	0.9%	
	思わない	0.3%	
4 進んで読書に取り組み、読書の楽しさを味わうことができましたか。	そう思う	46.4%	<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 
	だいたいそう思う	43.9%	
	あまりそうは思わない	6.8%	
	思わない	2.8%	
5 自分には、何かよいところがあるとと思いますか。	そう思う	52.1%	<input checked="" type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> だいたい思う <input type="checkbox"/> あまり思わない <input checked="" type="checkbox"/> 思わない 
	だいたいそう思う	45.6%	
	あまりそうは思わない	1.7%	
	思わない	0.6%	
6 学校が楽しいですか。	そう思う	65.0%	<input checked="" type="checkbox"/> 楽しい <input type="checkbox"/> まあまあ楽しい <input type="checkbox"/> あまり楽しくない <input checked="" type="checkbox"/> 楽しくない 
	だいたいそう思う	31.3%	
	あまりそうは思わない	2.0%	
	思わない	1.7%	
7 学級や学年、縦割り活動など、みんなで何かをするとき、進んで楽しく活動できましたか。	そう思う	66.1%	<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 
	だいたいそう思う	32.8%	
	あまりそうは思わない	1.1%	
	思わない	0.0%	
8 正しい姿勢を意識して生活できましたか。	そう思う	31.6%	<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> だいたいできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 
	だいたいそう思う	61.5%	
	あまりそうは思わない	5.1%	
	思わない	1.7%	
9 業間運動や体育では、楽しく体を動かすことができましたか。	そう思う	75.5%	<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> ままできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input checked="" type="checkbox"/> できなかった 
	だいたいそう思う	22.8%	
	あまりそうは思わない	1.1%	
	思わない	0.6%	

【資料】令和4年度 学校評価アンケート 年間自己評価 <保護者>

設 問	回答率 (%)	
	回答内容	割合
1 お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	そう思う	58.5%
	だいたいそう思う	39.2%
	あまりそうは思わない	2.3%
	思わない	0.0%
2 ご家庭でお子さんは、「読書の日」などに本を読んでいますか。	そう思う	16.3%
	だいたいそう思う	26.8%
	あまりそうは思わない	41.2%
	思わない	15.7%
3 お子さんには、家庭学習(宿題)の習慣が身に付いていると思いますか。	そう思う	27.8%
	だいたいそう思う	54.6%
	あまりそうは思わない	16.3%
	思わない	1.3%
4 お子さんと病気の予防について、話し合う機会を設けていますか。	そう思う	22.2%
	だいたいそう思う	49.7%
	あまりそうは思わない	20.9%
	思わない	7.2%

